

拓たる西別院だより

謹賀新年号



ご親修法要

年末年始の法要と行事

- | | | |
|------------|------------------------|-----------------|
| ○除夜会 | 12月31日(日) 15時 | 於 本堂 |
| ○除夜の鐘 | 12月31日(日) 23時50分 | 於 鐘楼堂 |
| ○元旦会 | 1月1日(月) 6時30分 | 引き続き御流盃の儀 於 本堂 |
| ○宗祖聖人御祥月法要 | 1月15日(月)・16日(火) 13時30分 | 於 本堂 |
| ○新年交礼会 | 1月16日(火) 16時 | 会費 2,000円 於 ホール |

1月10日までに別院へ電話でお申し込み下さい。TEL 22-0744

12月29日(金)より1月6日(土)まで月忌参詣をお休みさせていただきます。

年頭の辞

「聞法の道場」



輪番 岩間 行則

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
門信徒の皆様にはお念仏の中に新年をお迎
えのことと存じます。

昨年はご門主様を迎えて親鸞聖人七百五十回
大遠忌法要並びに本堂修復落成慶讃法要を勤修
させて頂くことができました。皆様のお力添え
のおかげと有難く厚く御礼申し上げます。

さて、このたびの本堂修復は、浄土真宗の
み教えを聞かせていただく「聞法の道場」を
次の世代へ伝えることが私たちの大きな目標
でありました。この大事業の完成を受け、本

年よりその具体的な取り組みとして、次のこ
とを推進していきたいと存じます。

一、ご影像是本山からお受けしましょう

親鸞聖人のご影像是本願寺から受け、浄
土真宗門徒としてふさわしいお荘厳にしま
しょう

一、家庭で報恩講をお勤めしましょう

浄土真宗をお開き下さった親鸞聖人のご命
日は一月十六日です。聖人を偲び真宗門徒の
営みとして報恩講を勤めましょう

一、仏事に式章を掛けましょう

小樽別院の記念事業（本堂修復）の懇志の
お扱いとして贈呈した式章を仏事（月忌・法事・
報恩講・別院参拝）に掛けましょう

一、別院の法要に積極的に参拝しましょう

別院の本堂は「聞法の道場」で阿弥陀さま
のお救いを聞かせていただくところです。

一、食事は合掌してからいただきます

私たちは多くの生き物のいのちをいただき
て生きています。合掌していただきます・ご
ちそうさまを励行しましょう。

二〇〇七年(平成十九年) 年忌表

法要についてのお願い

●法要をご予定の際には、日取りを事
前に別院とご相談の上、お決めくだ
さいますようお願い致します。

●別院にて年忌法要を、おつとめされる
場合は、使用冥加金を申し受けます。

一周忌 — 平成十八年

三回忌 — 平成十七年

七回忌 — 平成十三年

十三回忌 — 平成七年

十七回忌 — 平成三年

二十五回忌 — 昭和五十八年

三十三回忌 — 昭和五十年

五十回忌 — 昭和三十三年

平成十八年十月十日（火）

ご門主様ご親修法要勤まる

去る十月十日ご門主様ご導師により小樽別院親鸞聖人七百五十回大遠忌法要並びに本堂修復落成慶讃法要が千五百人の門信徒が参拝する中修行されました。

平成二十三年に本山でつとまるご法要に先立ち、全国に四十七ある別院の中で一番早くに親鸞聖人七百五十回大遠忌法要を修行し話題を集めました。

当日は、前日までの不安をよそに、快晴に恵まれ温かな日となりました。

午前九時半にご門主様が別院に到着され、園児・門信徒・帰敬式受式者が境内に整列し、あふれんばかりの拍手でお迎えいたしました。

午前十時半から本堂で執り行わ

れた帰敬式では、ご門主様より、母親に抱えられた一歳児を含む二百三十五人の受式者が厳肅な面持ちの中、おかみそりを受けました。

午後一時からは法要に先立って

双葉高校から別院へ向けて庭儀が始まり、雅楽の演奏者に続いて歩く稚児と保護者・僧侶・門信徒で行列は三百人にも達し、小樽ではめずらしい人数での庭儀となりました。ご門主様は本堂前から庭儀に参列され、正面のスロープから入堂される頃には、本堂はもちろん第二会場の幼稚園ホールも参拝者であふれ、法要では全員で正信偈をおつとめし、その声は境内に響き渡りました。

法要に引き続きいての、ご門主様

お言葉（ご親教）では「親鸞聖人のみ教えが、人々の生きる拠りどころとなつて、七百五十年の年月受け継がれてきたことを誠に有り難く思います。」と述べられました。

その後、ご講師を招いての記念布教では、「先に生まれた者が後を導いていくということがだんだん少なくなつてきている中で、私たちはどう生きて行くのか」などユーモアの中に厳しい問いかけのご法話をいただきました。

その後、会場をヒルトン小樽に移し、法要参拝者ら二百五十三人が出席し記念祝賀会が催されました。

この席でご門主様は、本堂修復の感謝のことばにつづいて「今まで何度か小樽に来ましたが明るさ

華やかさが少し乏しいのでは…という印象でしたが、この度別院に来て天候のせいもあつてかすつかり印象が変わりました。今後色々な世代の方が本堂に参拝して頂きたい」と感想を述べられました。

祝賀会は、別院門徒による琴・尺八の演奏や、ジャグリングなどで盛り上がり、午後八時アットホームな雰囲気の中に全日程を終えました。



「ご法要を終えて」

〽 仏婦会長をお引き受けして 〽

仏教婦人会 会長
杉本 美穂子

昨年4月仏教婦人会会長改選の際、私にお話があり、どうしようかという戸惑いの中「誰かが会長を引き受けなければ進まない」そういう気持ちで渋々、会長をお引き受けいたしました。

会の中身が分からない事ばかりでなく、昨年は小樽別院の大きな法要が控えておりました。

お天気に恵まれた十月十日京都本願寺よりご門主様をお迎えしての「親鸞聖人七百五十回大遠忌法要・本堂修復落成慶讃法要」が勤修されました。

当日は婦人会から四十人以上のお手伝いをいただいておりますが、自分の受け持ちの仕事で法要の様子など実際にどのように行われていたのか拝見することができませんでした。



後日ビデオをゆつくり見せていただく事にいたします。

十日のご親修法要

が終わってゆつくりする間もなく、十三日から十六日まで四日間にあたり報恩講がつとまり、朝早くから夜遅くまで、これまた婦人会の皆様のお手伝いをいただき誠に感謝の念でいっぱいです。

少し残念に思っていることは、昨年の婦人会報恩講の内容について「これでよかったのかな」と反省している次第です。

それにしても、婦人会の会員の皆様のエネルギーが素晴らしいに感服するばかりですし、行事の多さにも驚いています。

今年是小樽別院仏教婦人会の百周年にあたり、十月に本願寺よりお裏方様をお迎えして行事を行う事になっております。

今から準備に入らなければなりません、仕事をしながら、いかにしてお寺と付き合っていくか試行錯誤の連続ですが、これからも会員の皆様に助けられてがんばっていききたいと思っております。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

合掌

「帰敬式を受式して」

辻本 真弓

十月十日、前日までの嵐が嘘のような秋晴れに恵まれ、帰敬式を受式いたしました。

実を言うと私の動機は院号・法名をいただいておけばいつ亡くなっても大丈夫という安易な考えからでした。

しかし、当日多くのご門徒さんとおかみそりを受けて仏様の弟子になるということについて心が清くなる思いを感じました。また遙々小樽にお越しいただきましたご門主様のあたたかなまなざしと大きなお心に接することができたことは、私の人生の中で記念すべき出来事となりました。幼稚園のとき「み



仏様はいつもご覧になっていらつしやいます。」という言葉、私は、いつも監視されているから嘘をついては

いけないと思っておりました。しかし、おかみそりを終えた今は、み仏様はいつも私たちをみまもって下さっていると思えることができるようになりました。

母を亡くしてから二十一年、父を亡くして三年、ただただ、お仏壇に手を合わせ時々涙することもありますが、これからは阿弥陀さまのご本願に救われながら毎日を悔いなく生きていくことが両親の願いにこたえることと心から思えます。本当にこのようすばらしい仏縁をいただいたことに感謝いたします。ご輪番様はじめ僧侶の皆様、また準備等お世話いただいた役員の方々にご心より御礼申し上げます。

これから、阿弥陀さまありがとうございます。南無阿弥陀仏をいつもいえる人になりたいと思っております。

私の院号は眞実院、法名は釋徳称です。これからは眞実の心で報恩謝徳に努める新たなスタートです。

合掌

ご親修法要

フォトギャラリー



●参拝者来院



●参拝者本堂入堂



●パネル展



●ご門主様来院（お出迎え）

●帰敬式（法名拝受）



●帰敬式（おかみそり）

●双葉合唱部



●庭儀（奏楽人）

●庭儀（稚児）



●庭儀（法中）



●ご門主様 本堂ご入堂



●稚児



●本堂入堂（先導 輪番）



●法要（外陣）



●仏教会法中（左余間）



●来賓法中（右余間）

●輪番挨拶



●お礼言上（ホール）



●決意表明



●記念布教（瑕丘大愚師）



●本山褒賞授与



●別院感謝状授与

●ご門主様お言葉（ヒルトン小樽）



●記念祝賀会（ヒルトン小樽）



●司会（FMおたる 石橋やちよさん）



●琴・尺八の余興（ヒルトン小樽）



報恩講



●双葉高校生参拝



●園児参拝



●双葉音楽法要



●献灯（仏壮・仏婦）

●報恩講布教



●別院華道展示



●法要

●本堂向拝



●参拝者



●御伝鈔拝読



●御俗姓拝読（輪番）



フォトグラフィ

全国に紹介される

全国に配布されており、本願寺新報に、小紙文隆氏・仏教がやがや会が紹介されましたので、ここに掲載させていただきます。

小樽別院大遠忌法要の
実行委員長を務めた

小紙 文隆さん



「念願の本堂大修復と親鸞聖人750回大遠忌法要を、ご門主さまをお迎えして無事につとめられたことは誠に有り難いこと。これも歴代のご輪番をはじめ別院職員や門信徒の皆さまなど、多くの人のおかげ」

全国の別院に先駆けて大

遠忌法要を営んだ小樽別院の責任役員。法要では実行委員長の大役を務めた。日曜学校から小樽別院に通う。

「小学生のころは小樽の港は盛んで、日曜学校にも多くの子どもたちが来ていた。青年会に入つてからは、本山に何度かお参りさせてもらったことが懐かしい」と振り返る。

「お念仏の道場である本堂は、大正元年に建立されて以来の本格的な大修復。最近はお参りの方も少なくなつてきているので、今日のご勝縁を新たな始まりとして、聖人のみ教えに遇わせていただいた喜びを、次の世代に伝えて行きたい」と意欲的に話す。83歳。平成18年10月20日号に掲載

仏教がやがや会（北海道）

仏婦ががんばっています

「お寺でワイワイがやがやと楽しみなが、阿弥陀如来さまのお心を聴かせていただきませんか？」
北海道の小樽別院仏教婦人会（杉

本美穂子会長）では、若い世代に浄土真宗に触れてもらおうと「仏教がやがや会」（若婦人会）を毎月十五日の午後七時から開催している。

仏婦会員の高齢化が進み「何とか後継者を作りたい」という願いで平成十六年九月から始められ、来月の十五日で二周年を迎える。

参加対象は、日頃お寺へお参りする機会の少ない子育て世代。家族で仏法に親しんでもらおうと、夫婦や子どもとの参加を呼びかける。会には、婦人会（親会）の会員も参加するため、世代を超えた交流も盛んに行われる。いつもアットホームな雰囲気、ワイワイがやがやとにぎやか。

おつとめの後、別院職員から仏壇の荘厳の仕方や意味など「仏事のおはなし」がある。テーマは、参加者がリクエストして決め、普段聞けない仏事作法を学んでいく。

布教使の法話を聴聞した後、がやがや会の本領發揮。講師を交えて、お茶とお菓子を食べながら、仏事の話から買い物、子育てなど話は尽きない。

永坂かおるさん（36）は別院仏青OG。「お寺に来るとホッと

子育て世代が集う小樽別院若婦人会



平成18年8月20日号に掲載

するので、仕事や家事を終わらせて参加しています」と喜ぶ。猪田香保里さん（41）は「子どもを連れて来れるので有り難い。お焼香やお仏壇のお飾りなど、これでいいのかな」と思つてやっていると多く勉強になる」と話す。

来年、百周年を迎える別院仏婦では「がやがや会を通していろんな活動に広げていき、会の活性化につなげたい」と話している。

ワイワイがやがや楽しんで

物品寄贈者御芳名

本堂提灯台二基

ご門主様用畳・会議室畳・講師室畳・納骨堂畳

お仏飯箱二箱・本堂荘嚴具

藤野 健二

木下 畳店

福島工務店

(敬称略)

ご寄贈有難うございました。

本堂修復懇志新規進納者御芳名

(平成18年8月1日～10月31日現在)

●門徒懇志

金壹百萬円

清水 薫

金八拾萬円

岡 久夫

金六拾萬円

黒田 豊

古川 慶子

金四拾萬円

内田 貞行

石塚 忠幸

水戸 新策

大賀キミエ

赤坂 イチ

室田 良雄

和崎 光晴

菅原美津子

梶川 利江

長谷川幸夫

三吉 利昌

中曾 フサ

笠原シズエ

杉山 実

河野 孝一

山田 良子

笠島 富江

中津津摩子

小西 正子

津川 富雄

中野 政治

高岡 勝美

小野 ヒデ

豊岡 隆

小林 典夫

畠山 健二

●崇敬寺院懇志

金五拾萬円

竜溪寺 (後志組)

(敬称略)

その他、分納にて多数の方々よりご進納頂いております。

ご進納有難う

ございました。

別院門徒物故者

(平成18年8月1日～平成18年10月31日現在)

以上の別院門徒の方々がお浄土に還られました。謹んでお念仏申し上げます。

合掌

ご案内

常例布教

毎月7日～11日 午後1時30分
13日～16日 午後1時30分

お 晨 朝

毎日 午前6時30分

仏教婦人会

毎月15日 正午(おとぎあり)

仏教壮年会

毎月6日 午後7時

おつとめ教室

毎月2回(火曜日) 午後2時

仏教がやがや会

毎月15日 午後7時

日曜仏教講座

毎月1回(第3日曜日)
午前9時30分

お講の例会

- 樹心会 5日 午後7時
- 唯信講 10日 正 午
- 彰心会 7日 午後7時
- 無量講 9日 午後6時
- 法友会 13日 午後6時

十 九 日 講

毎月19日 正午(おとぎあり)

- 於 奥沢説教所
- 於 奥沢説教所
- 於 若竹説教所
- 於 小樽別院
- 於 新光説教所

謹賀新年

本願寺小樽別院

輪番	岩間 行則	園長	岩間 行則	園長	武藤 三孝	臨時保育士	鈴木 雅恵
副輪番	西川 達恵	主任	西川 達恵	主任	川口美由紀	臨時保育士	芦谷 美樹
副輪番	武藤 三孝	副主任	中里 美果	副主任	関谷 育子	臨時保育士	長野 京子
参勤	磯村 真一	教諭	藤井 亜季	教諭	栗原 恭子	臨時保育士	新井田 莉佳
参勤	梶 純信	教諭	本間 美樹	教諭	小田桐 景子	臨時調理	長南 文子
参勤	村田 法道	教諭	本 一恵	教諭	若杉 倫子	保育士	
参勤	温井 卓生	教諭	細田 菜津子	教諭	山下 由果	保育士	
承仕	森 敬信	教諭	藤井 梨紗	教諭	知本 美保	保育士	
承仕	脇 大悟	教諭	星野 夏未	教諭	小林由貴子	保育士	
承仕	山邊 出	教諭	澤田 修二	教諭	小笠原典子	保育士	
書記	宮内 綾子	バス運転手	伊藤 光行	バス運転手	花田加奈美	臨時保育士	
書記	堀越やよい	バス運転手	宇都宮 栄治	バス運転手	石上 恵理	臨時保育士	
書記	驚頭 千津子	用務員	真鍋 智子	用務員	増田 知江	臨時保育士	
用務員	森合 幸子	臨時教諭	川上 尚美	臨時教諭	齊藤 智恵子	臨時保育士	
用務員	森合 幸子	臨時教諭	鈴木 登喜子	臨時教諭			
調理師	本郷 昶子						
責任役員	小紙 文隆						
総代	北川 紋二						
総代	竹田 榮治						
総代	長谷川 博俊						
総代	宮本 英子						
総代	福島 正紘						
総代	杉本 守巧						
総代	猪田 格一						
仏教壮年会々長	辻井 聡克						
仏教婦人会々長	杉本 美穂子						

若竹保育所職員

責任役員	小紙 文隆
所長	青柳 順子
主任	嵯峨 久世
主任	谷藤 久美子
主任	義川 潔美
主任	中田 美津江
主任	厚谷 弘子
主任	増田 ひかり
主任	菊谷 奈津実
主任	野田 美樹
主任	小澤 あゆみ
主任	田中 敬子

小樽幼稚園職員

園長	岩間 行則
副園長	西川 達恵
主任	中里 美果
副主任	藤井 亜季
教諭	本間 美樹
教諭	本 一恵
教諭	細田 菜津子
教諭	藤井 梨紗
教諭	星野 夏未
教諭	澤田 修二
バス運転手	伊藤 光行
バス運転手	宇都宮 栄治
用務員	真鍋 智子
臨時教諭	川上 尚美
臨時教諭	鈴木 登喜子

新光保育園職員

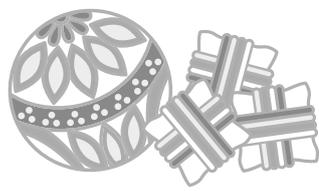
園長	武藤 三孝
主任	川口美由紀
主任	関谷 育子
主任	栗原 恭子
主任	小田桐 景子
主任	若杉 倫子
主任	山下 由果
主任	知本 美保
主任	小林由貴子
主任	小笠原典子
主任	花田加奈美
主任	石上 恵理
主任	増田 知江
主任	齊藤 智恵子

新職員紹介



森合 幸子

この度、八月一日より小樽別院の用務員として勤務させていただきます。だいております。わからないことばかりなのでご迷惑おかけしますが、一生懸命がんばりますので、よろしくお願いたします。



3分間の心のともしび

小樽別院 **テレホン法話** 24時間いつでもどうぞ **TEL 27-1616**



編集後記

「おたる西別院だより」は門徒さん向けに年4回発行しています。今回はご門主様をお迎えしてご親修法要がとまりましたので、ご法要の様子をカラーで掲載いたしました。ご清覧いただいたご意見、ご感想をお寄せ下さい。



編集委員会の様子

連絡先

本願寺小樽別院 小樽市若松1丁目4番17号 ☎0134-22-0744 FAX 0134-29-4080

みんな

仲良し

小樽幼稚園



～まこと(いのち)の保育を行っています～



当園では、浄土真宗のみ教えに基づき「いのちの大切さ」「自然への感謝」「やさしい心」を育てる保育に努めています。

又、お絵かきや工作などのクラスでの活動の他に、プール遊びや、週に2・3回クラス合同のホールでのリズム遊びなどを通し、異年齢の交流を深めており、年長から年少までみんな仲良く遊んでいます。

是非一度見学にお越し下さい。(年中見学可能です。)

- ☆**保育時間**→月曜日～金曜日(8:30～14:00/冬期間(12月～3月) 8:30～13:30)
- ☆**昼食**→お弁当～週2回/給食～週3回(パン食2回/米食1回)
- ☆**預り保育**→月曜日～金曜日(17:30迄)行います。(15:00迄は無料です/降園バス有)
- ☆**プール遊び**→年間を通して、温水プール遊びを行っています。(年長のみプール指導有)
- ☆**英会話**→月2回年長のみ行います。
- ☆**体操教室**→月1回年長・年中・年少に分かれて行います。
- ☆**送迎バス**→ご希望の方は、ご自宅付近まで送迎致します。
- ☆**主な行事**→花まつり・降誕会・運動会・親子遠足・バス遠足・いも掘り・報恩講・お遊戯会・おもちつきなど。
- ☆**ならし保育**→満2歳以上、就園未満のお子さんを対象に、火曜日クラスと木曜日クラス(毎週各1回)にて保育を行います。

※詳しくは、入園案内をごらんください。

園児募集

途中入園可能

- 募集園児 3歳児(H15.4.2～H16.4.1生まれ)
- 4歳児(H14.4.2～H15.4.1生まれ)
- 5歳児(H13.4.2～H14.4.1生まれ)

願書受付 新入園受付中です。

※事前に御連絡下さい。



学校法人 小樽龍谷学園

小樽市若松1丁目4番17号

小樽幼稚園

TEL FAX

0134-22-6536

新畳・表替・裏返・畳工事

やっぱり畳が落ち着く
生き続ける伝統の技



木下畳店

小樽市山田町 8-6

☎・FAX 23-2245

生花を使って花祭壇

札樽葬祭(株)

TEL 34-0444

奥沢1-16-2

花の店 カトレア(有)

TEL 23-6487

奥沢1-17-3

江戸風半生菓子処

つくし牧田

小樽市花園5丁目7番2号

電話(0134)27-0813番

FAX(0134)27-1310番